

『顎変形症と顎関節』

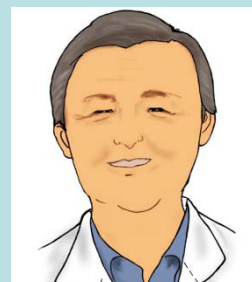
日 時：2017年11月8日(水) 16:30～18:30

場 所：歯学部4階 示説室

演 者：近藤 壽郎先生

日本大学松戸歯学部

顎顔面外科学講座 教授



講演抄録

「顎変形症はいかなる疾患か？」という問いに対して、演者は「顎変形症とは、上下顎骨の相対的な位置と形態の異常によって生じる咬合の異常であり、且つ顎顔面骨の形態異常である」と表現できるとも考えています。顎変形症は「アゴの形の異常」なのですが、はっきりとした「アゴの機能の異常」を伴っていないのが特徴とも言えます。健常者とくらべて「アゴの形の異常」を持つひとの顎運動範囲や咀嚼能力などは、おおよそ違いがないようです。顎機能の象徴ともいえる顎関節においても、下顎後退症をのぞいた「アゴの形の異常」は、健常者とあまり違いがないようです。これらのことは、「アゴの形の異常」を持つひとには、機能的な主訴がほとんどないということからもうかがい知れるかもしれません。

今回の講演においては、「顎変形症者にはどの程度の顎機能異常が潜在するのか」、「顎機能異常をもつ顎変形症者の治療をどうするのか」、「顎変形症治療すなわち顎矯正手術は顎機能障害のリスクとなりうるか」といったことをレビューしたいと思います。また顎関節疾患によって生じた顎変形症の治療について、私の顎関節外科手術の一部を紹介させて頂き、本講演演者の責を果たせればと考えております。

主催：徳島大学病院 形成外科、徳島大学病院 矯正歯科

共催：徳島大学病院 徳島県地域医療支援センター

徳島大学病院 キャリア形成支援センター

連絡先：口腔顎顔面矯正学分野 田中 栄二

(088-633-7357 内線5291) etanaka@tokushima-u.ac.jp

尚、本研修会は、大学院医科学教育部、栄養生命科学教育部、口腔科学教育部の大学院特別講義ならびに、クラスターコアセミナー(骨とCaクラスター)を兼ねていますので、大学院生の御来聴を歓迎致します。